

レポート
No. 412



日本共産党区議会議員 **おぐり智恵子** の

議員活動報告

事務所: 中央区日本橋人形町1-10-8
自宅: Tel/Fax 3249-1762

発行・日本共産党中央区議会議員団 Tel 3546-5563
HPアドレス <http://www.jcpchuo-kugidan.jp/>

築地市場の移転中止求め 都知事に署名提出



「築地市場の移転中止を求める署名」を野田総特別秘書(右)に手渡す私(おぐり智恵子)。左端は大山とも子・尾崎あや子(隣)都議会議員。署名は累計で1万5934筆となりました=5月29日都庁にて

「豊洲」開場まで4カ月
「間に合わない」矛盾噴出

築地市場の移転先とする豊洲新市場の開場予定日(10月11日)まで4カ月となりましたが、混乱は深まるばかりです。土壌汚染問題、施設の欠陥と使い勝手の悪さの問題、場外施設計画の難航と、深刻な問題が何一つ解決しておらず、市場業者の合意と納得も得られていません。築地で働く業者からは「移転なんてできるわけがない」「築地市場の再整備を」との声が上がっ

ています。
土壌汚染も深刻

都が4月に発表した豊洲新市場の地下水調査結果では、依然として最高で、環境基準の130倍もの発がん性物質ベンゼンなどを検出しました。地下の土壌に、有害物質がいまだに残っていることを示しています。

豊洲新市場の施設の欠陥と使い勝手の悪さは致命的です。水産卸売場棟、仲卸売場棟、青果棟が道路で分断され、立体構造で、物流に時間がかかります。交通アクセスも悪く、築地市場の業界団体や業者から不満が噴出しています。

また、豊洲新市場場外の集客施設「千客万来」計画も迷走、着工を20年東京五輪後に先送りしました。

入学準備金を「入学前に」支給

経済的に苦しい家庭の児童・生徒への支援として就学援助制度があり、入学のための「入学準備金」も支給されています。

中央区ではその支給時期が、入学後の6月頃で、実際に必要な時に間に合っていない。

他区ではすでに「入学前」支給が広がっており、私たち党区議団は繰り返し、改善を求めてきました。

6月の区民文教委員会で、教育委員会はようやく「中央区も来年度実施を考えている」と表明。朗報です。



移転を中止し 築地で再整備を

築地で働く業者からは「築地市場の現在地再整備を」という声が多く上がっています。

日本共産党区議団は5月29日、小池都知事に「築地市場の豊洲移転中止を求める署名」を提出し、食の安全と「築地ブランド」を守り、業者と地域経済の発展のためにも、現在地での再整備に立ち戻るよう要請しました。

中央区役所本庁舎整備を検討

6月12日、第1回中央区役所本庁舎整備検討委員会が開かれました。

区役所本庁舎は1969年（昭和44年）竣工後、築48年を経過し、「老朽化」「狭小化」が課題となり、建て替えの検討が必要だとして、検討委員会を設置して、建設候補地の選定など本庁舎整備基本方針を定めることになりました。

昨年度の予備調査、建設候補地の選定結果として、「現本庁舎敷地」と「京華スクエア敷地（八丁堀）」の2か所があがっています。

現庁舎の基礎データ



- 所在地
中央区築地一丁目1番1号
- 敷地面積（別館含）3600㎡
- 延床面積2万1871㎡
（本館2万386㎡、別館1484㎡）
- 構造
本館（鉄骨鉄筋コンクリート造、地下3階、地上10階）
別館（鉄骨鉄筋コンクリート造、地下1階、地上10階）
- 竣工年月
本館1969年（S44）1月
築48年（17年度末時点）
- 改修工事
本庁舎耐震補強工事
98年（H10）10月
本庁舎大規模改修工事
06年（H18）6月～08年3月まで

「整備基本方針」の

策定に向けて

今年度は、「整備基本方針」の策定に向け、さらに詳細な調査を行い、新本庁舎の機能等についての基本コンセプトを取りまとめます。

―調査、検討の内容―

- ・ 現本庁舎の現状、課題
- ・ 整備の必要性
- ・ 新庁舎のあり方、整備方針
- ・ 新庁舎の位置、整備手法等

今後、どのような本庁舎整備が必要なのか、十分な議論が求められます。

国民健康保険・介護保険 6月に保険料の通知

保険料の通知が始まっています。国民健康保険料は今年も引き上げられてしまいました（共産党は反対）が、前年の所得を基に算定するため、所得の申告をすることで保険料が軽減される場合があります。

【問い合わせ先】

保険年金課資格係

電話 03-3546-5362

◆無料法律相談◆

毎月第3火曜日3時から
要予約→☎3249-1762



おぐり智恵子の
ブログ
「マロンレポート」
ほぼ毎日更新ご覧下さい



「共産党は何でも反対」と言われることがあります。国会でも地方議会でも、闇雲に何でも反対しているわけではありません。

国民、区民にとって、良いことには賛成していきますし、議案の内容を少しでもよくしていくために修正案を提出することもあります。



今の国会で言えば、過労死を増やすことにつながる「働き方改革」一括法案や、カジノ実施

法などは断固反対です。また中央区の毎年の国民健康保険料の値上げは反対など、一つひとつよく検討して、「ダメなものダメ」とはっきり主張し、反対を貫いています。

それは「国民の苦難を軽減する」という共産党としての立党の精神に基づくものです。

ちなみに、中央区議会第1回定例会での区長提案の議案への「反対率」は25%でした。